

質 疑 質 問 事 項

(1) 自然災害・防災について

- ① 今回の台風通過前に、どのような被害を想定し対策準備を進めていたかお聞きします。
- ② 土砂災害警戒や、レベル4における避難勧告・指示（緊急）、レベル5災害発生などの発令情報は、市民へどのように伝達し、どの程度伝達出来ているのかお聞きします。
- ③ 断水や停電などでライフラインが寸断された場合、本市が定める地域防災計画における応急対策計画はどのようになっているのかお聞きします。

(2) 町内会について

- ① 市が町内会に依頼し行っている事業はどの程度あるのか。
また、町内会会長や役員、組長などは年間どの程度の町内会業務に携わっているのか、その日数や時間などについてお聞きします。
- ② 町内会運営や活動事例に関するアンケート結果における改善すべき課題などについてお聞きします。

(3) 東京2020パラリンピック聖火リレーを契機とした障がい者スポーツの推進について

- ① 熱海市の各計画において、障がい者スポーツはどのように位置づけられ、また、どのように具体的な事業が展開されているのかお聞きします。
- ② 各種スポーツ大会において優秀な成績をおさめ、全国大会等に出場した際の助成及び奨励金についてどのような制度が現在あるのか伺います。また、制度の中で対象が障がい者の方である場合に特化した支援となっているのか、また、対象が障がい者の方であった助成等の実績件数についてもお答えください。
- ③ パラリンピック聖火リレーの出発地として決定した際、齊藤市長は、熱海市の魅力を国内外にPRする好機として所感を述べられていますが、聖火リレーを契機として今後、熱海市における障がい者スポーツの振興をどのように進めていくお考えかお聞きします。

(4) 国土交通省が選定した5Gを使用したスマートシティモデル事業について

- ① 熱海市の一部エリアで行う5Gを使用したスマートシティモデル事業について、5Gでどのような事業が展開されるのかお聞きします。

質 疑 質 問 事 項

1. 台風19号による災害対策について
 - ・台風19号における避難に関する情報のタイミングは適切だったのか
 - ・市民への避難情報の伝達方法について
 - ・避難所の通信環境が悪い場所の今後の対策は

2. 国際医療福祉大学熱海病院の分娩の休止問題について
 - ・新たな分娩の受付を休止した理由はなにか
 - ・近年における、産科の利用状況は
 - ・市としてこの問題に対してどのような対策をするのか

3. 移住促進について
 - ・現在の熱海市における移住者の状況は
 - ・市として移住者促進の対策はどのようなものがあるのか
 - ・トライアルステイの提案

4. 多文化共生の進捗について
 - ・新在留資格創設後の本市の外国籍住民数の状況について
 - ・外国籍住民の増加に伴う市役所における手続きの状況について

5. SDGsを取り入れた第5次熱海市総合計画について
 - ・SDGsを具体的にどのように総合計画に取り入れていくのか
 - ・総合計画に市民の声をどのようにして取り入れていくのか
 - ・市民協働事業提案制度の提案

質 疑 質 問 事 項

1. 温泉情緒漂う景観の形成を

- (一) 大湯間歇泉の修景整備が今年4月に完了しました。
次に、大湯間歇泉周辺に足湯や東屋を造り、温泉情緒漂うまち並み形成を。
- (二) 熱海の温泉の歴史と文化を高める温泉資料館の開設を。

2. 幼児教育・保育の無償化について

- (一) 0歳から2歳児も対象とする市単独の無償化について。
- (二) 給食費の無償化について。

3. 熱海市の高齢者政策について

- (一) 熱海市の介護体制の現状と今後の取り組みについて。
- (二) 介護分野の外国人人材について。
- (三) 安心して相談できる体制の構築を。

4. 熱海市の災害対策について

- (一) 災害に対するハード・ソフト面での今後の取り組みは。
- (二) 災害時に自力での避難が難しい方々や高齢者の課題は。
- (三) 災害被害者に対する事務手続きの簡略化について。

質 疑 質 問 事 項

1、台風19号による災害被害とその後の断水への対応体制やその課題、今後の対応方針などについて

①今回の災害で開設した避難所はどこか。また、災害対策本部や避難所でそれぞれ対応した職員数は何人か

②対応した職員は2泊以上したとの話も聞いている。このような場合の、特に避難所での交代体制や交代要員数はしっかりと整えられているのか

③今回の台風19号は、マスコミで狩野川台風と同規模の非常に大きな台風が上陸すると報道されたことで、早い段階から避難者が発生したと聞いている。このように長時間にわたる避難所の開設や自主防災会の一時的避難場所の開設に対する課題としてどのような認識をもっているのか

2、災害や環境変化に柔軟に対処できる観光施策の展開について

①観光地熱海としては、災害でダメージを受けたあと、いかにリカバリーするかという考え方も必要であると思う。今回の被害を受けて、それをカバーできるようなタイムリーなキャンペーンなどが必要だと思うがどうか

②大型台風被害の修繕費用と消費増税の影響により熱海ビーチラインが大幅に値上げする事になった。この事は本市の観光にも少なからず影響があると思うがどうか。またこの影響を緩和出来る施策の必要があると思うがどうか

3、宿泊税の導入について

齊藤市長 第4期目スタートとなる所信表明においても観光振興の必要性を述べられている。改めて齊藤市長の宿泊税に対する思い、考えは

4、学校におけるICT活用の充実について

①小中学校における教育用パソコン、タブレットの配置状況と周辺機器の整備状況について

②国におけるICTを活用した学校教育の充実策の概要について

③小中学校におけるICT活用の現状と課題について

5、熱海大火を教訓とした市民の防火思想の高揚について

来年、令和2年は熱海大火から70年の節目を迎える。これまでに、熱海大火を教訓に市民、観光客の安全安心の確保のため、どのような取り組みをしてきたのか

質 疑 質 問 事 項

1. 中小企業振興基本条例の必要性について

①熱海市は中小企業振興基本条例に対してどのような見解をお持ちか

2. (仮称) 熱海フォーラム整備事業について

①平成20年からの10年間、市税収入はどうか変化しているのか

②市税収入は今後どのように推移するのか

③今後の財政運営に対してどのような点に注視していかなければならないとお考えか

④10年前に3億円を30年の期間支払う財源を見いだせないとして庁舎建設を取りやめた市長が、今回は同規模かそれ以上の金額を必要とする(仮称)熱海フォーラムを本当に建設しようと考えているのか

⑤この時期に着工することにこだわる理由は何か

3. 今後の水道事業会計のあり方と災害対応の情報伝達について

①今後の人口減少の推移だが、県水受水区域の人口はどのように推移するのか

②現在一日あたり約1万tの県水を受水しているが、今後、自己水源を活用し賄える水量は一体どの程度なのか

③災害発生時の対応はどのようにマニュアル化されているのか

④高齢化の進んだ本市において災害弱者への情報伝達はどのようにあるべきとお考えか

⑤今回の断水で熱海市に情報伝達以外にも不十分であったと思われる点は一体何か

4. 熱海駅前広場について

①今回のトイレ及び喫煙所の移設はどのような経緯を経て決まったのか

②駅前広場に残された課題にはどのようなものがあるとお考えか

質 疑 質 問 事 項

1. 台風19号発生における市の防災対応について

- ①市からの情報提供をどの様におこなったか。また、各家庭への防災ラジオの普及を一層強化すべきと思うが市の認識を伺う。
- ②避難勧告発令時、避難所の開設から運営に際し、市担当部局と避難所の連絡体制はどの様になっていたか伺う。
- ③各地域で避難所の運営がスムーズにおこなわれているか、あらゆる機会を通じて避難所の運営訓練を徹底すべきと考えるが、市の認識を伺う。

2. 台風19号による断水時の給水活動について

- ①給水活動における山間地域への個別給水、特に、高齢者住宅への対応が課題と考える。市として今後どの様に対応するのか伺う。

3. 将来の住みやすいまちづくりについて

- ①まちづくりのコンセプトとして「コンパクト・プラス・ネットワーク」という考え方があるが、当局はどの様に理解しているか伺う。
- ②コンパクトシティの推進にあたって、今後どの様に取り組もうとしているのか伺う。

4. 若者があふれる企業誘致活動について

- ①東京から日帰りができる距離感と環境をアピールし、仕事で熱海を拠点にする関係人口の増加に取り組むべきと考えるが、市の認識を伺う。

5. 生涯学習の活性化について

- ①生涯学習講座は年間何回おこなわれ、どれだけの市民が利用・受講しているのか。
- ②受講対象者に情報を届けるために、どの様な工夫がされているのか伺う。

質 疑 質 問 事 項

1. 議案第67号 水道法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について
 - ①水道法の一部を改正する法律の内容と議案第67号の条例の内容が一致しないので、議案第67号の修正を求める。
 - ②議案第67号の第5条熱海市離島初島簡易水道事業特別会計条例の廃止は、法制上の廃止制定の手続きにそぐわないので、議案第65号を熱海市離島初島簡易水道条例と並列表記した題名にし、二つの条例を一つの廃止条例とするよう議案の修正を求める。
2. 水道基盤強化計画の策定等について
 - ①県が策定する水道基盤強化計画と駿豆水道事業の関係について
 - ②県が策定する水道基盤強化計画の水道施設更新費用等の収支の見通し等が市の財政計画へ与える影響について
 - ③初島は離島の特異性を考慮して、初島簡易水道事業が水道事業へ統合されても、今後その状況がわかる予算・決算を公表できないか。
3. 地域コミュニティ活動の推進について
 - ①この事業が目標とするところはなにか。また、今後の事業計画をどの様に考えているのか。
 - ②町内にいるフレイル（虚弱を意味する）の発症者など高齢者の交通弱者をその町内が支えていく方法として、デマンド交通などがある。町内会が担えるような交通事業の先例はないか。またその障害となる事は何か。
 - ③全ての市民に関わる事柄故に、地域コミュニティ活動の推進に当たっては、予算をしっかりと確保すべきと考えるが。
4. 産後ケア事業について
 - ①熱海市が取り組んでいる産後ケア事業について、その内容、事業の委託先、及び実績について示してください。
5. 高齢者対象のフレイル健診について
 - ①フレイルとは、「虚弱」、「老衰」、「脆弱」を意味し、高齢になると筋力が落ちたり、食が細くなったりするため、フレイル健診は、重症化を防ぐ事を目的としている。平均寿命と健康寿命の差を縮め健康な状態で長生きするために、熱海市でもフレイル健診を導入しないか。
6. 幼児教育・保育無償化に関して
 - ①制度的に煩雑なため、保護者、保育所、行政として問題等が生じていないか。また、事務手続きに関して、要望等、関係者の実態を聴取しているか。
 - ②「保育の質」の問題として、一人の保育士が子供たちの安全に目が届く児童数の見直しを訴える意見に対する保育現場の現状を、市はどのように認識しているのか。また、乳幼児教育の方針・考え方について、現場の保育士への多方面からの学びの機会が必要と感じている意見もあるが、市の認識をお尋ねします。

質 疑 質 問 事 項

(1) 台風被害を教訓とした今後の対策について

①住民の避難について

ア. 台風15号では、深夜にレベル4の避難勧告が出されたが、周知等に問題はなかったか。今後の対策を伺う

イ. 高齢者・障がい者の深夜の避難行動について問題等はなかったか伺う

ウ. 「避難勧告」と「避難指示」がいずれもレベル4に相当するとのことだが、本市では、このことをどう区別して発令されたのか伺う

エ. レベル4・レベル5発令時の職員の配置について伺う

②多くの方から、同報無線が聞こえないとの声を聞いたが、その対策を伺う

(2) 断水被害に関して

①この断水被害にあたり、水の大切さを改めて実感したところではあるが、県水についての市の考えに変化はあるか。被害後、県に対してはどのような要請・要望を行ったのか伺う

②他自治体では断水事故後に水道料金等の減額措置を実施しているが、本市ではできないのか伺う

③断水事故対応で住民への周知等で多くの課題が見つかったと思うが主なものを伺う

(3) 火災対策について

①強風下の火災対策について伺う

②文化施設等の防火管理について伺う

(4) 市職員のパワハラ・セクハラに関して

(5) 熱海ビーチラインの値上げに対する熱海市内への影響について

質 疑 質 問 事 項

1. 令和2年度予算編成方針に関して

- (1) この予算編成方針は、第4次総合計画最終年としての対応を充分考慮されたものか。
- (2) この予算編成方針は、市内のバランスの取れない現状の改善に貢献出来る内容か。
- (3) この予算編成方針で、市役所の運営が、市民によるこぼれる様なことが充分考慮されているか。

2. 県営水道の断水に関して

- (1) 平成20年4月28日に起こった断水の本当の原因は何か。県はどうコメントしたか。
- (2) この時の断水による市の損害について県に補償の請求をされたか。
- (3) この当時、断水に伴う市民の被った損害をどのように考えたか。
- (4) 本年10月12日の断水の原因は何か。また、11年前の断水の総括が生かされていると思うか。

3. 第5次総合計画の策定に関して

- (1) 第5次総合計画、市民会議に提出された資料の内容の一部は、市民の感覚とかなり相違していないか。
- (2) 第4次総合計画の総括なしに、第5次総合計画の策定を進めるのか。
- (3) 行政推進の基幹となっている市役所自体は、総合計画で、どのように扱われるのか。

4. 教員の労働条件の改善は進んでいるのか

- (1) 本年9月定例会での、教育長答弁では、過労死のおそれのある長時間労働の教員がかなり居るとのことだが、この削減は具体的にどのように進んでいるか。
- (2) 今政府が示し、実施しようとしている変形労働時間制は、現在の過重な教育現場の労働時間の削減になると、教育長は考えているか。

質 疑 質 問 事 項

- ① 少子高齢化の加速による生産人口の激減や、台風の影響と自己水源の確保等の水道事業への投資等々難問山積により逼迫する熱海市の財政運営に、上宿町市有地（旧岡本ホテル跡地）の売却は避けられない状況だが、売却するか民間活用を急げないか。
- ② ブルネイ王国を対象とした東京オリンピック・パラリンピック「ホストタウン計画」を進めているようだが、熱海市のメリットをどのように考えているか。
- ③ 熱海市内に一軒も無い外資系ホテルを「起雲閣」敷地内に誘致し“迎賓館ホテル”として企業誘致して、新しいインバウンドの開拓や若者層の雇用促進を急げないか。
- ④ 令和2年度予算編成方針において、既存の事務事業経費については、廃止・中断を含めて全面的な見直しを行い、費用対効果を検討して、徹底的に削減合理化を図るとされているが、既存事業を見直し、もっと効果をあげられるような新たな事業へ予算をつける事はできないか、当局の見解を伺う。
- ⑤ ADさんいらっしゃい！事業を民間委託し、「熱海フィルムコミッションズ」として発足させることで、熱海国際映画祭の汚名を返上してアニメ、コミックを含むイベント招致他メディア戦略を加速させてはいかがか。
- ⑥ 熱海国際映画祭の後処理に関して
 - ・熱海国際映画祭の後始末にかかる現在までの弁護士等の法務関係費用総額と決済済み金額、及び今後予測される弁護士費用をどの程度見積もっているか。
 - ・齊藤市長は責任の所在を曖昧にしたまま、弁護士費用を垂れ流しているが、映画祭の責任者であり、負債が出たら責任を負うことが書面でも記されている株式会社フォーカスの髪林氏を提訴しない理由を説明せよ。
 - ・市長は無駄な弁護士費用を市税から拠出する前に、第2回熱海国際映画祭開催を目途に、ポスター他制作協力を依頼した「株式会社レジェンド・ピクチャーズ」から内容証明を送られているが、請求されている総額600余万元はいつ頃返済するのか。
- ⑦ 下多賀の祭りに関して、子供たちが山車を引く時間帯に下多賀旧道の車の通行を規制して事故防止に取り組めないか。
- ⑧ 網代地区の活性化を目途に、仮称「網代シーサイドRVパーク」計画を推進する考えはあるか。

質 疑 質 問 事 項

1. 育英事業奨学金について
2. 就学援助について
3. 放課後児童クラブについて
4. 防災について
5. 加齢性難聴について